

第 68 回神奈川不整脈研究会

会期：2026 年 2 月 28 日（土）15:00～18:00

開催場所：TKP ガーデンシティ横浜 当番幹事：柳下 敦彦先生（東海大学医学部附属病院）

■15:00～

開会挨拶 柳下 敦彦先生（東海大学医学部附属病院）

■15:00～16:40 一般演題 ※質疑応答を含め 100 分(1 演題：発表:8 分、質疑応答:3 分)

座長：田中 泰章先生（横須賀共済病院） 白井 康大先生（A0I 国際病院）

1. 左房内で治療し得た His 束近傍 ATP 感受性心房頻拍の一例
後閑 俊彦先生（菊名記念病院）
2. Pulse Field Ablation 後に心房捕捉不良を呈した心房中隔ペーシングの一例
熊谷 和樹先生（湘南鎌倉総合病院）
3. 頻拍機序の診断が困難であった、左室後乳頭筋起源心室頻拍の 1 例
鎌田 龍明先生（A0I 国際病院）
4. 左房後壁パルスフィールドアブレーション直後に心室細動を発症した持続性心房細動の 1 例
飯村 和真先生（東海大学医学部附属病院）
5. 心臓原発腫瘍に伴う心室頻拍に対して 3Dmapping での腫瘍生検とアブレーション治療が奏効した一例
張 峻模先生（横須賀共済病院）
6. 洞調律下での興奮伝播の把握に難渋した、左室形成術後心室頻拍の一例
板倉 大輔先生（川崎幸病院）
7. 広い洞周期にわたり生じる Double Ventricular Response による
Dual Atrioventricular Nodal Non-Re-Entrant Tachycardia-Induced Cardiomyopathy の 1 例
鈴木 芳和先生（昭和医科大学藤が丘病院）
8. パルスフィールドアブレーション後に心膜炎を生じた持続性心房細動の一例

秋元 耕先生（新百合ヶ丘総合病院）

■16:40～16:45 休憩

■16:45～17:45

特別講演『心房細動治療 Up to date:パルスフィールドアブレーションがもたらす治療戦略の再定義』

座長：柳下 敦彦先生（東海大学医学部附属病院）

演者：東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科教授・診療部長 徳田 道史先生

■17:45～ 表彰式・閉会挨拶 代表幹事 高橋 淳先生（横須賀共済病院）